

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Jun FUJIMOTO

GAU:

SERIAL NO: New Application

EXAMINER:

FILED: Herewith

FOR: REMOTE CONTROL TERMINAL

REQUEST FOR PRIORITY

COMMISSIONER FOR PATENTS
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.

☐ Full benefit of the filing date(s) of U.S. Provisional Application(s) is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e): Application No. Date Filed

☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

COUNTRY

Japan

APPLICATION NUMBER

2002-364486

MONTH/DAY/YEAR

December 16, 2002

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

☒ are submitted herewith

☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

☐ were filed in prior application Serial No. filed

☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number

Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.

☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and

☐ (B) Application Serial No.(s)

☐ are submitted herewith

☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



Marvin J. Spivak

Registration No. 24,913

C. Irvin McClelland
Registration Number 21,124

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 05/03)

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2002年12月16日
Date of Application:

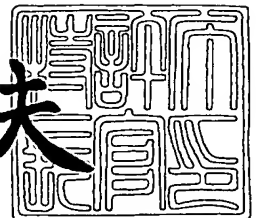
出願番号 特願2002-364486
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP 2002-364486]

出願人 アルゼ株式会社
Applicant(s):

2003年10月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3083077

【書類名】 特許願

【整理番号】 P02-1076

【提出日】 平成14年12月16日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A63F 7/02

【発明の名称】 リモコン端末

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5 有明フロンティア
ビル A 棟

【氏名】 富士本 淳

【特許出願人】

【識別番号】 598098526

【氏名又は名称】 アルゼ株式会社

【代表者】 岡田 和生

【代理人】

【識別番号】 100083806

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

【識別番号】 100068342

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0212527

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 リモコン端末

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定のサービスを管理するサービス管理部から提供される前記サービスを選択可能にする入力手段と、

前記入力手段で選択された前記サービスに基づいて、該サービスを前記サービス管理部から取得する取得手段と、

前記取得手段で取得された前記サービスの内容を表示する表示手段とを有することを特徴とするリモコン端末。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のリモコン端末であって、

前記サービスの提供を受けるための手順が示された説明情報を複数記憶する記憶手段を有し、

前記入力手段は、前記記憶手段に記憶された前記説明情報を選択可能にし、

前記取得手段は、前記入力手段で選択された前記説明情報を前記記憶手段から取得し、

前記表示手段は、前記取得手段で取得された説明情報を表示することを特徴とするリモコン端末。

【請求項 3】 請求項 1 に記載のリモコン端末であって、

前記入力手段は、相手側の電話を選択可能にし、

前記取得手段は、前記入力手段で選択された前記電話と該取得手段との間の通信接続を確立することを特徴とするリモコン端末。

【請求項 4】 請求項 1 に記載のリモコン端末であって、

ユーザの音声を文字列として認識する音声認識手段を有し、

前記取得手段は、前記音声認識手段で認識された前記文字列に基づいて、該文字列に対応付けられた前記サービスを前記サービス管理部から取得し、

前記表示手段は、前記取得手段で取得された前記サービスの内容を表示することを特徴とするリモコン端末。

【請求項 5】 請求項 1 に記載のリモコン端末であって、

前記遊技場には、該遊技場内における状況を撮影する複数の撮影装置が配備さ

れており、

前記入力手段は、前記各撮影装置で撮影された映像を選択可能にし、

前記取得手段は、前記入力手段で選択された映像を前記サービスとして前記撮影装置から取得し、

前記表示手段は、前記取得手段で取得された映像を表示することを特徴とするリモコン端末。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、リモコン端末に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来では、ホテル内において宿泊者にカードを所持させ、所持されたカードで精算等を行うシステムが提案されている（例えば、特許文献 1、特許文献 2）。例えば、宿泊者がホテルにチェックインする際の記帳内容をインプットした宿泊者カードに基づいてサービスを提供するシステムがある。これにより、システムが宿泊者のカードを用いて精算等を行うので、宿泊者は、各種サービスを受けるための金銭を持ち歩く必要がなくなる（キャッシュレス化）。

【0 0 0 3】

一方、カジノ等を扱う遊技業界においても、確実にキャッシュレス化の方向に向かっている。例えば、遊技者がキャッシュカードを用いて各種ゲームを行うことのできるシステムがある。これにより、遊技者は、利用料金を逐一支払うことなくゲームを実行することができる。

【0 0 0 4】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 1 2 3 6 1 9 号公報（第 3 - 7 頁、第 1 図）

【0 0 0 5】

【特許文献 2】

特開平 8 - 1 8 0 1 1 5 号公報（第 7 - 2 3 頁、第 1 図）

【0006】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、上記のようにキャッシュレス化を目的としたサービスの提供を行うシステムの開発が進行しているが、そのシステムは、サービスを提供する場所毎に独立に設けられているものであった。このため、遊技場及びホテルは、双方の利点を生かした細かなサービスを利用者に提供することができなかった。

【0007】

ところが、遊技場及びホテルが細かな各種サービスを宿泊者等に提供することとなると、ホテルの宿泊者等は、各種サービスの提供を受けるための操作手順を幾つか実行しなければならず、結果的には各種サービスの享受を自主的に拒むこととなっていた。

【0008】

そこで、本発明は以上の点に鑑みてなされたものであり、宿泊施設及び遊技場の双方を融合させた各種サービスをユーザが受ける際に、各種サービスの提供を受けるための操作を分かり易くすることのできるリモコン端末を提供することを課題とする。

【0009】**【課題を解決するための手段】**

本願に係る発明は、上記課題を解決すべくなされたものであり、所定のサービスを管理するサービス管理部（情報提供部60）から提供されるサービスを選択可能にする入力手段（入力部131）と、入力手段で選択されたサービスに基づいて、サービスをサービス管理部から取得する取得手段（送受信部134）と、取得手段で取得されたサービスの内容を表示する表示手段（表示部135）とを有することを特徴とする。なお、サービス管理部は、遊技場及び宿泊施設に配備されることをが好ましい。

【0010】

上記発明においては、サービスの提供を受けるための手順が示された説明情報を複数記憶する記憶手段（各サーバ61～68）を有し、入力手段は、記憶手段に記憶された説明情報を選択可能にし、取得手段は、入力手段で選択された説明

情報を記憶手段から取得し、表示手段は、取得手段で取得された説明情報を表示することが好ましい。

【0 0 1 1】

上記発明においては、入力手段は相手の電話を選択可能にし、取得手段は入力手段で選択された電話と取得手段との間の通信接続を確立することが好ましい。上記発明においては、ユーザの音声を文字列として認識する音声認識手段（音声認識部 1 3 2）を有し、取得手段は、音声認識手段で認識された文字列に基づいて、文字列に対応付けられたサービスをサービス管理部から取得し、表示手段は、取得手段で取得されたサービスの内容を表示することが好ましい。

【0 0 1 2】

上記発明においては、遊技場には遊技場内における状況を撮影する複数の撮影装置（カメラ 2 1）が配備されており、入力手段は、各撮影装置で撮影された映像を選択可能にし、取得手段は、入力手段で選択された映像をサービスとして撮影装置から取得し、表示手段は、取得手段で取得された映像を表示することが好ましい。

【0 0 1 3】

【発明の実施の形態】

〔第一実施形態〕

（情報提供装置の基本構成）

本発明に係る情報提供装置 1 を図面を参照しながら説明する。図 1 は、本実施形態に係る情報提供装置の内部構成を示す図である。

【0 0 1 4】

同図に示すように、情報提供装置 1 は、本実施形態では、客室部 1 0 と、遊技場 2 0 と、フロント部 3 0 と、レストラン部 4 0 と、飲食部 5 0 と、情報提供部 6 0 と、電話交換部 7 0 とを備える。前記フロント部 3 0 は、宿泊者の受付及び管理をするものである。このフロント部 3 0 は、本実施形態では、端末 3 1 と、カード発行機 3 2 と、クレジットカード端末 3 3 とを備える。

【0 0 1 5】

端末 3 1 は、宿泊者に関するユーザ情報を入力するものである。このユーザ

情報（第一識別子）は、遊技者又は宿泊者を識別するものであり、例えば、遊技者又は宿泊者に予め割り振られた I D、名前、住所、国籍、連絡先又は滞在期間等が含まれる。具体的に、端末 3 1 は、宿泊者が所持するカード 8 0 に記憶されているユーザ情報を読み取る。このユーザ情報を読み取った端末 3 1 は、読み取ったユーザ情報をホテルサーバ 6 1 に記憶させる。

【 0 0 1 6 】

カード発行機 3 2 は、宿泊施設内で提供されるサービスを受けるためのカード 8 0 を発行するものである。クレジットカード端末 3 3 は、宿泊者が宿泊施設又は遊技場で受けたサービスに対する料金を精算するものである。

【 0 0 1 7 】

前記レストラン部 4 0 は、各種飲食物を提供するものである。このレストラン部 4 0 は、本実施形態では、レジ部 4 1 と、カード R / W 4 2 とを備える。レジ部 4 1 は、宿泊者等が注文した飲食物に対する料金を精算するものである。カード R / W 4 2 は、宿泊者等が所持するカード 8 0 から金額情報を読み取るものである。この金額情報は、例えば、金融機関と提携されたカード 8 0 に予め割り振られた番号、ユーザの金融機関口座等が挙げられる。

【 0 0 1 8 】

前記飲食部 5 0 は、各種飲食物を提供するものである。この飲食部 5 0 は、本実施形態では、レジ部 5 1 と、カード R / W 5 2 と、カウンタートップ部 5 3 a ～ 5 3 c とを備える。レジ部 5 1 及びカード R / W 5 2 は、上記説明したレジ部 4 1 及びカード R / W 4 2 と同様の機能を有する。カウンタートップ部 5 3 a ～ 5 3 c は、飲食物を提供する場所又は宿泊者等が飲食物を飲食する場所である。

【 0 0 1 9 】

前記遊技場 2 0 は、本実施形態では、カメラ 2 1 a ～ 2 1 f（撮影装置）と、スロット機 2 2 a ～ 2 2 d と、ルーレット 2 3 a , 2 3 b と、カード読込部 2 4 a ～ 2 4 d と、チップ発行精算機 2 5 とを備える。カメラ 2 1 a ～ 2 1 f は、遊技場 2 0 内の状況を撮影するものである。チップ発行精算機 2 5 は、スロット機 2 2 a ～ 2 2 d、ルーレット 2 3 a , 2 3 b 等で遊技者がゲームを行った際に取得した金額情報を取得し、取得した金額情報に含まれる利用料金を精算するもの

である。

【 0 0 2 0 】

カード読込部 2 4 a ~ 2 4 d は、遊技者がスロット機 2 2 a ~ 2 2 d 又はルーレット 2 3 a , 2 3 b 等のゲームをする際に、遊技者が所持するユーザ情報を読み込むものである。遊技者は、スロット機 2 2 a ~ 2 2 d、ルーレット 2 3 a , 2 3 b 等のゲームをする前に、遊技者の所持するカード 8 0 に記憶されているユーザ情報をカード読込部 2 4 a ~ 2 4 d に読み込ませる。

【 0 0 2 1 】

なお、カード読込部 2 4 a ~ 2 4 d は、遊技場 2 0 に配備されるスロット機 2 2 a ~ 2 2 d、ルーレット 2 3 a , 2 3 b 等のゲーム機を識別する第二識別子（ゲーム機毎に予め割り振られた I D を含む遊技情報）を記憶し、カード 8 0 に記憶されたユーザ情報を第二識別子と共に読み込むものであってもよい。更に、カード読込部 2 4 a ~ 2 4 d は、カード 8 0 に記憶された第一識別子を読み込むものであってもよい。

【 0 0 2 2 】

前記客室部 1 0 は、本実施形態では、電話 1 1 と、端末 1 2（表示端末）とを備える。電話 1 1 は、電話交換部 7 0 を介して宿泊者が他の者と音声の送受信を行うものである。端末 1 2 は、カメラ 2 1 a ~ 2 1 f で撮影された遊技場 2 0 内の状況を表示するものである。具体的に、端末 1 2 は、マルチメディアサーバ 6 5 を介して入力された遊技場 2 0 内の映像を画面に表示させる。

【 0 0 2 3 】

また、端末 1 2 は、カード読込部 2 4 a ~ 2 4 d で読み込まれた遊技情報を画面に表示させるものである。具体的に、端末 1 2 は、カード読込部 2 4 a ~ 2 4 d で読み込まれたユーザ情報、又はユーザ情報及び第二識別子とを対応付けて画面に表示させる。

【 0 0 2 4 】

前記情報提供部 6 0 は、本実施形態では、ホテルサーバ 6 1 と、ハウスカードサーバ 6 2 と、サービスサーバ 6 3 と、イントラサービスサーバ 6 4 と、マルチメディアサーバ 6 5 と、P T S サーバ 6 6 と、カジノデポジットサーバ 6 7 と、

集計サーバ 6 8 とを備える。

【 0 0 2 5 】

ホテルサーバ 6 1 は、宿泊施設内に配備されている端末 3 1、レジ部 4 1、5 1 で読み込まれた情報を管理するものである。ハウスカードサーバ 6 2 は、ハウスカードの管理を行うものである。具体的に、ハウスカードサーバ 6 2 は、例えば、宿泊施設内でユーザが各種サービスを受けたことにより発生した利用料金を管理し、管理した利用料金を決済するものである。

【 0 0 2 6 】

また、ハウスカードサーバ 6 2 は、宿泊施設内に滞在する宿泊者の金融機関口座等を管理する。サービスサーバ 6 3 は、ショー又はイベントの予約を受け付けし、ショー又はイベントに参加可能な券を発行するものである。

【 0 0 2 7 】

イントラサービスサーバ 6 4 は、各種ゲーム（ゲームオンデマンドのサービス）を提供するものである。具体的に、イントラサービスサーバ 6 4 は、端末 1 2 からの要求に応じて、イントラサービスサーバ 6 4 で管理している各種ゲームを端末 1 2 に提供するものである。また、イントラサービスサーバ 6 4 は、カメラ 2 1 で撮影された映像を端末 1 2 の画面に表示させると共に、画面に表示されたゲームに宿泊者を参加可能にするものでもある。

マルチメディアサーバ 6 5 は、端末 1 2 に配信するビデオを管理するものである。具体的に、マルチメディアサーバ 6 5 は、端末 1 2 からの要求に応じて、マルチメディアサーバ 6 5 で管理しているビデオを端末 1 2 に配信するサービス（ビデオオンデマンドのサービス）を提供する。

【 0 0 2 8 】

P T Sサーバ 6 6 は、各種ゲームのプログラムを管理するものである。具体的に、P T Sサーバ 6 6 は、端末 1 2 からの要求に応じて、管理されているプログラムを端末 1 2 に送信する。カジノデポジットサーバ 6 7 は、遊技者がスロット機 2 2 a ～ 2 2 d 又はルーレット 2 3 a、2 3 b 等のゲームを利用する際に支払う利用料金を精算するものである。

【 0 0 2 9 】

遊技者は、ゲームを行う前に、自己のカード 8 0 に記憶された金額情報をカード読込部 2 4 に読み込ませる。この読み込まれた金額情報には、遊技場 2 0 で利用することのできる上限金額が設定されている。この金額情報を取得したカジノデポジットサーバ 6 7 は、取得した金額情報に含まれる上限金額の範囲内から上記利用料金を減算する（デポジットサービス）。

【 0 0 3 0 】

なお、遊技者は、遊技者の操作入力により、予め遊技場又は宿泊施設内で利用可能な利用料金の上限をカジノデポジットサーバ 6 7 に設定し、カジノデポジットサーバ 6 7 は、上記設定された利用料金の範囲内で遊技場又は宿泊施設内で発生した遊技者の利用料金を減算してもよい（デポジットサービス）。

【 0 0 3 1 】

集計サーバ 6 8 は、遊技者毎に遊技情報を管理するものである。この遊技情報は、図 2 に示すように、遊技者を特定するためのユーザ ID、遊技者の氏名又は国籍を含むユーザ情報、遊技者が行ったゲーム又は各種ゲーム機の ID 等が挙げられる。この集計サーバ 6 8 は、カード読込部 2 4 a ~ 2 4 d で読み込まれた遊技情報を取得し、取得された遊技情報を自サーバに記憶させる。

【 0 0 3 2 】

この遊技情報を記憶させた集計サーバ 6 8 は、例えば、記憶された第二識別子の数を遊技情報としてゲーム機毎に集計する。この集計サーバ 6 8 は、集計したゲーム機毎の遊技情報を端末 1 2 に送信する。この集計サーバ 6 8 から遊技情報を受信した端末 1 2 は、受信した遊技情報を画面に表示させる。

【 0 0 3 3 】

また、集計サーバ 6 8 は、自サーバ内に記憶された遊技情報に基づいて、ゲームに参加した人数をゲームの種類毎に集計するものでもある。なお、集計サーバ 6 8 は、各遊技者の獲得メダル数、ゲームの勝敗数、カード読込部 2 4 a ~ 2 4 d が遊技者のカード 8 0 から読み込んだ金額情報等を遊技情報に含めて管理してもよい。また、この遊技情報には、ユーザが購入した商品、遊技者が各ゲームを行った場所を含めてもよい。これにより、この遊技情報を解析する者は、遊技者の嗜好又は行動パターンを容易に把握することができる。

【 0 0 3 4 】

上記各サーバ 6 1 ～ 6 8 は、ユーザ I D 毎に、フロント部 3 0 で支払った宿泊料金、レストラン部 4 0 ・ 飲食部 5 0 で支払った料金、遊技場 2 0 で使用した料金、端末 1 2 を介して行ったルームサービス、通信販売についての料金等を管理している。これにより、各サーバ 6 1 ～ 6 8 は、レストラン等における売上をユーザ毎に管理することができる。

【 0 0 3 5 】

なお、各サーバ 6 1 ～ 6 8、各端末 3 1, 3 3 又は各レジ部 4 1, 5 1 は、ユーザが宿泊施設又は遊技場 2 0 内で発生した料金を精算する際には、そのユーザのカード 8 0 から暗証番号を含む認証情報を取得し、取得した認証情報が予め記憶された認証情報と一致するときは、そのカード 8 0 に記憶された金額情報に含まれる利用料金を精算するのが好ましい。これにより、各サーバ 6 1 ～ 6 8 等は、ユーザの認証情報が特定されたときのみ、そのユーザに対応する料金を精算するので、料金についての情報のセキュリティを高めることができる。

【 0 0 3 6 】

なお、端末 1 2 は、インターネット網と接続されることが好ましい。これにより、宿泊施設又は遊技場 2 0 におけるネットワークが外部のインターネット網に接続されるので、宿泊施設又は遊技場 2 0 の運営者は、インターネット網上で提供されているサービスも提供することができる。この結果、運営者は、より細かなサービスを宿泊者等に提供することができる。

【 0 0 3 7 】

なお、ユーザが利用する金融機関のサーバと端末 1 2 とがインターネット網と接続されていることが好ましい。カジノデポジットサーバ 6 7 は、カード読込部 2 4 a ～ 2 4 d で読み込まれた金額情報に含まれるユーザ I D に基づいて、インターネット網に接続された金融機関のサーバで管理されているユーザ I D に対応付けられた金融機関口座を特定する。

【 0 0 3 8 】

この金融機関口座を特定したカジノデポジットサーバ 6 7 は、読み込まれた金額情報に含まれる利用料金を、特定した金融機関口座から引き落とす。これによ

り、宿泊施設又は遊技場 2 0 の運営者は、カジノ等の遊技場が胴元となったインターネットカジノを構築することができる。

【 0 0 3 9 】

なお、ルーレット又はカードゲーム等に用いる遊技媒体（例えば、チップなど）には、I D タグが埋め込まれることが好ましい。この I D タグは、スロット機 2 2 又はルーレット 2 3 等の近傍に設けられたタグ読取機で読み込まれる。この I D タグを読み込んだタグ読取機は、読み込んだ I D タグを集計サーバ 6 8 に出力する。

【 0 0 4 0 】

この集計サーバ 6 8 は、入力された I D タグとその I D タグに対応付けられたゲーム機名と含む遊技情報を記憶する。これにより、遊技場の従業員は、集計サーバ 6 8 に記憶された遊技情報を参照することで、遊技媒体の動きをディーラー等の人手を介さないで管理することができる。この結果、運営者は、管理の簡略化を図ることができると共に、遊技情報を用いた多彩なサービスを提供することができる。

【 0 0 4 1 】

（情報提供装置による作用及び効果）

このような本実施形態に係る発明によれば、端末 1 2 は、カメラ 2 1 で撮影された遊技場内の状況を表示することができる。これにより、宿泊施設に宿泊している宿泊者は、逐一遊技場 2 0 に出向かなくても、遊技場 2 0 内の状況を見て楽しむことができる。

【 0 0 4 2 】

また、端末 1 2 が、遊技場 2 0 にいる遊技者の遊技情報を表示することができるので、宿泊者は、端末 1 2 に表示された遊技情報を見て、ルーレット 2 3 等に参加している遊技者が誰なのかを容易に把握することができると共に、遊技場 2 0 内の状況を更に見て楽しむことができる。

【 0 0 4 3 】

更に、端末 1 2 が、集計サーバ 6 8 で集計された数をゲーム機毎に表示するので、宿泊者は、各ゲーム機を利用した遊技者の数を容易に把握することができる。

。これにより、例えばルーレット 23 のゲームに参加している人数が少ない場合には、宿泊者は、そのルーレット 23 のゲームに参加しようとする意欲が高まる。また、宿泊施設にとっては、遊技場における情報を端末 12 に表示させるサービスを宿泊者に提供することにより、更に集客効果を高めることができる。

【0044】

[第二実施形態]

(リモコン端末の基本構成)

本実施形態の構成は、上記第一実施形態の構成と基本的には同様であるが、リモコン端末 13 と、電気機器 14 とを有する点で相違する（図 1 参照）。図 3 に示すように、リモコン端末 13 は、本実施形態では、入力部 131 と、音声認識部 132 と、端末制御部 133 と、送受信部 134 と、表示部 135 と、映像選択部 136 とを備える。なお、リモコン端末 13 は、電話機能を備えてもよい。

【0045】

入力部 131 は、所定のサービスを提供する情報提供部 60 から提供されるサービスを選択可能にするものである。なお、この情報提供部 60 は、遊技場 20 又は宿泊施設に配備されることが好ましい。

【0046】

また、入力部 131 は、各カメラ 21a～21f で撮影された映像を選択可能にするものである。更に、入力部 131 は、各サーバ 61～68 に記憶された説明情報（例えば、説明書等）を選択可能にするものである。ここで、各サーバ 61～68 は、サービスの提供を受けるための手順が示された説明情報を複数記憶している。なお、説明情報は、各サーバ 61～68 に記憶されるものに限定されず、各サーバ 61～68 以外の各部のいずれかに記憶されるものであればよい。例えば、説明情報は、リモコン端末 13 に記憶されてもよい。

【0047】

更に、入力部 131 は、相手側の電話を選択可能にするものである。上記より入力部 131 は、選択された各種情報に応じて各機能を実行させるための命令信号を端末制御部 133 に出力する。ここで、上記各機能には、操作機能、取り扱い説明機能又は取り次ぎ機能が挙げられる。

【 0 0 4 8 】

この操作機能は、電気機器 1 4 の制御処理（例えば、エアコンの空調の調整）又は端末 1 2 を介して行うゲームに参加する処理、各サーバ 6 1 ～ 6 8 から提供されるサービスを選択する処理が挙げられる。ここで、電気機器 1 4 は、エアコン、オーディオ、ビデオ、カメラ、プリンタ又はパーソナルコンピュータ等が挙げられる。

取り扱い説明機能は、リモコン端末を操作するための説明情報を送受信部 1 3 4 で取得し、又は送受信部 1 3 4 で取得された説明情報を表示部 1 3 7 に表示させる処理が挙げられる。また、取次ぎ機能は、各部屋に配備された相手側の電話と送受信部 1 3 4 との間で通信接続を確立させる処理が挙げられる。この取次ぎ機能により、ユーザが入力部 1 3 1 にある「フロントに繋ぐ」を選択することで、リモコン端末 1 3 は、ホテルのフロントにある電話機に繋ぐことができる。

【 0 0 4 9 】

なお、フロントにある電話は、取次ぎ機能によりリモコン端末 1 3 からアクセスがあった旨（アクセス情報）を表示させてもよい。これにより、ホテルの従業員は、電話機に表示されたアクセス情報に基づいて、該当するユーザに折り返し連絡をすることができる。

【 0 0 5 0 】

音声認識部 1 3 2 は、ユーザの音声を文字列として認識するものである。映像選択部 1 3 6 は、入力部 1 3 1 からの指示に応じて各カメラ 2 1 a ～ 2 1 f で撮影された映像を選択処理するものである。表示部 1 3 5 は、送受信部 1 3 4 で取得された各サービスの内容を表示するものである。

【 0 0 5 1 】

送受信部 1 3 4 は、入力部 1 3 1 で選択されたサービスに基づいて、サービスを情報提供部 6 0 から取得するものである。また、送受信部 1 3 4 は、映像選択部 1 3 6 で選択処理された映像をサービスとしてカメラ 2 1 から取得するものである。更に、送受信部 1 3 4 は、入力部 1 3 1 で選択された説明情報を各サーバ 6 1 ～ 6 8 から取得するものである。

【 0 0 5 2 】

更にまた、送受信部 1 3 4 は、入力部 1 3 1 で選択された電話と送受信部 1 3 4 との間の通信接続を確立するものである。加えて、送受信部 1 3 4 は、音声認識部 1 3 2 で認識された文字列に基づいて、文字列に対応付けられたサービスを各サーバ 6 1 ～ 6 8 から取得するものである。

【 0 0 5 3 】

表示部 1 3 5 は、送受信部 1 3 4 で取得されたサービスの内容を表示するものである。また、表示部 1 3 5 は、送受信部 1 3 4 で取得された説明情報を表示するものである。更に、表示部 1 3 5 は、送受信部 1 3 4 で取得された映像（カメラ 2 1 の映像）を表示するものである。

【 0 0 5 4 】

（リモコン端末による作用及び効果）

このような本実施形態に係る発明によれば、リモコン端末 1 3 は、入力部 1 3 1 で選択されたサービスに基づいて、そのサービスを情報提供部 6 0 から取得することができる。これにより、ユーザは、リモコン端末 1 3 を介して各種サービスを簡単な操作で受けることができる。

【 0 0 5 5 】

また、リモコン端末 1 3 は、入力部 1 3 1 で選択された映像をサービスとしてカメラ 2 1 から取得することができる。これにより、ユーザは、遊技場 2 0 内における各種ゲーム機の状況を簡単な操作で把握することができる。

【 0 0 5 6 】

更に、リモコン端末 1 3 は、入力部 1 3 1 で選択された説明情報を各サーバ 6 1 ～ 6 8 から取得することができる。これにより、ユーザは、リモコン端末 1 3 を通じて取得した説明情報を参照しながら、遊技場又は宿泊施設から提供される多様なサービスをより簡単に受けることができる。

【 0 0 5 7 】

更にまた、リモコン端末 1 3 は、入力部 1 3 1 で選択された電話と送受信部 1 3 4 との間の通信接続を確立させることができる。これにより、ユーザが入力部 1 3 1 にある「フロントに繋ぐ」を選択することで、リモコン端末 1 3 は、ホテルのフロントにある電話に繋ぐことができる。

【 0 0 5 8 】

最後に、リモコン端末 1 3 は、音声認識部 1 3 2 で認識された文字列に基づいて、その文字列に対応付けられたサービスを情報提供部 6 0 から取得することができる。これにより、ユーザは、リモコン端末 1 3 を逐一操作することなく、音声を通じて簡単に各種サービスを受けることができる。

【 0 0 5 9 】**【発明の効果】**

以上説明したように、本発明によれば、宿泊施設及び遊技場の双方を融合させた各種サービスの提供を受けるための操作を分かり易くすることができる。

【図面の簡単な説明】**【図 1】**

第一実施形態に係る情報提供装置の内部構成を示すブロック図である。

【図 2】

第一実施形態における集計サーバに記憶される遊技情報の内容を示す図である。

【図 3】

第二実施形態におけるリモコン端末の内部構造を示す図である。

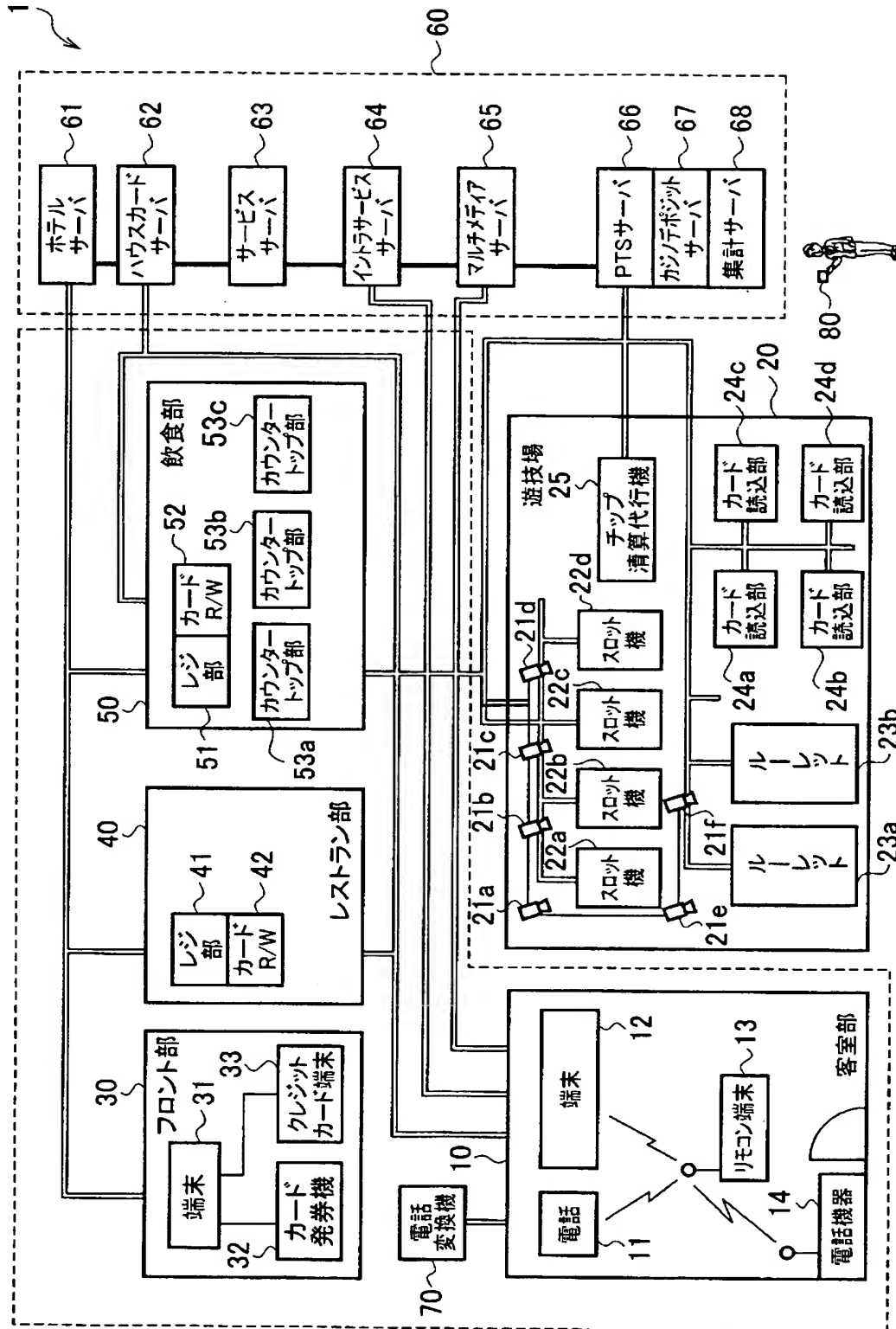
【符号の説明】

1 0…客室部、1 1…電話、1 2…端末、1 3…リモコン端末、1 4…電気機器、2 0…遊技場、2 1…カメラ、2 2…スロット機、2 3…ルーレット、2 4…カード読込部、2 5…チップ発行精算機、3 0…フロント部、3 1…端末、3 2…カード発行機、3 3…クレジットカード端末、4 0…レストラン部、4 1…レジ部、5 0…飲食部、5 1…レジ部、5 2…カード R / W、5 3…カウンタートップ部、6 0…情報提供部、6 1…ホテルサーバ、6 2…ハウスカードサーバ、6 3…サービスサーバ、6 4…イントラサービスサーバ、6 5…マルチメディアサーバ、6 6…P T S サーバ、6 7…カジノデポジットサーバ、6 8…集計サーバ、7 0…電話交換部、8 0…カード、1 3 1…入力部、1 3 2…音声認識部、1 3 3…端末制御部、1 3 4…送受信部、1 3 5…表示部、1 3 6…映像選択部

【書類名】

図面

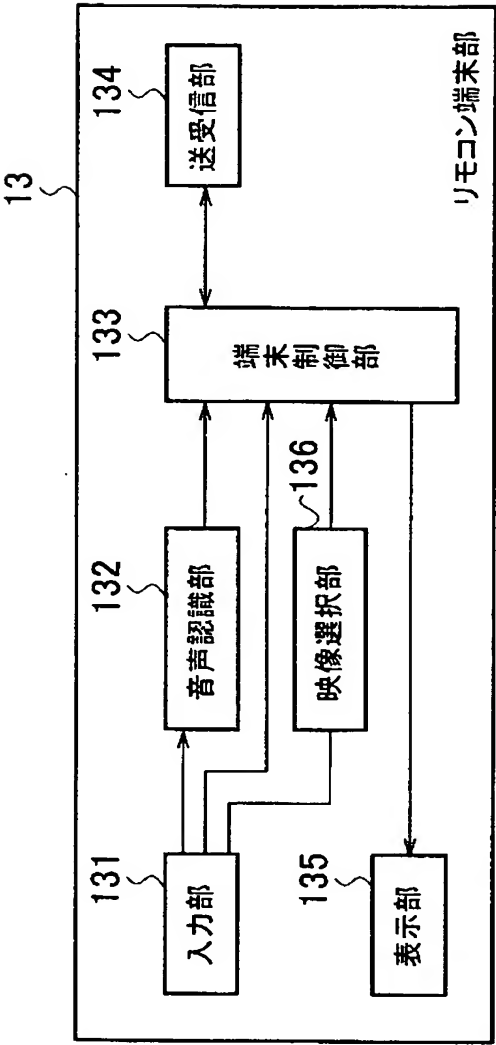
【図 1】



【図 2】

ユーザID	氏名	国籍	利用したゲーム
001	A氏	○国	スロット機 22a スロット機 22b ルーレット ∴
0002	B氏	×国	スロット機 22c スロット機 22d ∴
∴	∴	∴	∴

【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、ユーザが宿泊施設及び遊技場の双方を融合させた各種サービスの提供を受けるための操作を分かり易くすることができる。

【解決手段】 本発明は、所定のサービスを管理するサービス管理部から提供されるサービスを選択可能にする入力部 1 3 1 と、入力部 1 3 1 で選択されたサービスに基づいて、サービスを情報提供部 6 0 から取得する送受信部 1 3 4 と、送受信部 1 3 4 で取得されたサービスの内容を表示する表示部 1 3 5 とを備える。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 2 - 3 6 4 4 8 6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 9 8 0 9 8 5 2 6]

1. 変更年月日

1 9 9 8 年 7 月 2 3 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5

氏 名

アルゼ株式会社